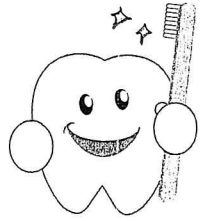


歯を失う2つの大きな原因

むし歯と歯周病

DH. 太田 祥子



歯を失うおもな原因は、「歯周病(42%)」「むし歯(32%)」です。そのほか「破折(11%)」「矯正治療(1%)」親知らずの抜歯など「その他(13%)」となります。

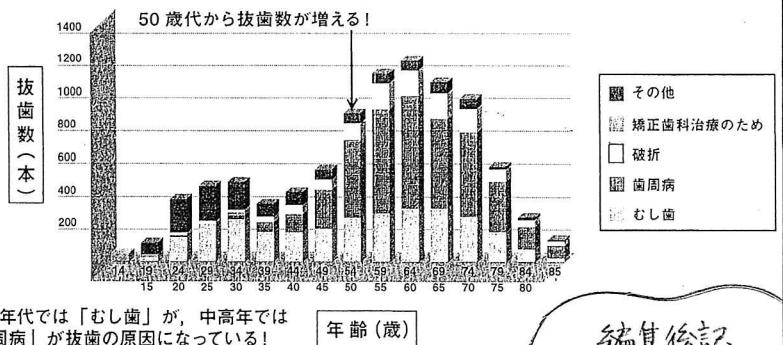
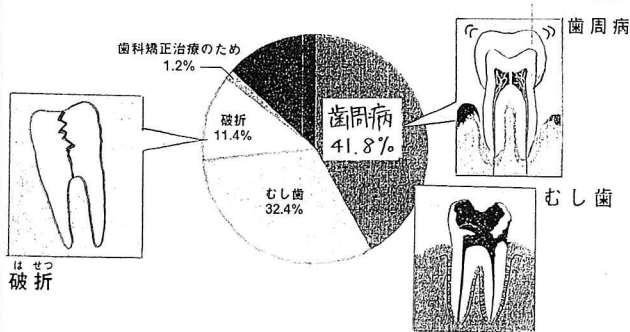
歯周病による抜歯の割合は30歳代から50歳代にかけて徐々に増加し、それ以降は各年代の50~60%もの数値を占めます。むし歯による抜歯の割合は30歳前後までは年齢とともに増加し、それ以降は減少して各年代の20~30%となります。

このことから、中高年では「歯周病」で抜歯になる割合が高く、比較的若い年代では「むし歯」や、「矯正治療」のため抜歯になる人が多いようです。

～ むし歯・歯周病の予防には「プラークコントロール」が大切です! ～

むし歯も歯周病も、歯についての「プラーク(歯垢)」がその原因です。プラークの中では、歯周病の原因となる細菌が増殖し、毒素や炎症を起こす物質をつくります。

歯の表面や歯間ポケットの中のプラークを、毎日の正しい歯磨きと、歯科医院での定期的なメンテナンスを受ける事で減らしていくことが大切です。



若い年代では「むし歯」が、中高年では「歯周病」が抜歯の原因になっている!

PRF (Plate Rich Fibrin) とは

血液を遠心分離すると、傷の治りをよくする成分に富んだゼリー状のものがとれます。抜歯やインプラントの外科処置の際に使用すると、止血効果があり術後の腫れや痛みを少なくします。腕の静脈から、

20ccほどの採血をして、自己血由来のみの成分なので安全に使用できます。当院でも2011年9月から導入しています。 Dr. 浅野 聖子



編集後記

不明な点は、気軽にお尋ね下さい。

DH.丸山初美

寒くて長い冬が終わり、今年もまた緑の季節がやって来ます。私の身近な方で、ここ2ヶ月の間に赤ちゃんが3人産まれます。このご時世うれしいですね。この子達が大人になった時、今より住みやすい社会になっているように祈りたいです。

DH. 飯島 和美